

障害とコミュニケーション

～誰もが地域で安心して暮らすために～

受講料
無料

① 映画「梅切らぬバカ」(2021年製作/77分)【日本語字幕付き】

第14回 東京新聞映画賞・第39回 日本映画復興奨励賞

第46回 日本カトリック映画賞・2021年度 無煙映画大賞 作品賞

2月1日(木) 10:00~11:30 (開場 9:45)



② 講演「発達障害のある人への理解と対応 —社会の中でより良く生きるために—」

2月6日(火) 14:00~15:30 (開場 13:45)

岸川 学 さん (神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科講師)

③ 講義・質疑応答 「地域の中で障害のある人もない人も共に生きる」

2月8日(木) 10:00~11:30 (開場 9:45)

近藤 勝利 さん (社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台 施設長)

【会場】 まなびかん 5階 第2学習室
(横須賀市生涯学習センター・横須賀市西逸見町1-38-11)

【申込】 1月11日(木)以降に、
ネット申込または「コールセンター」へ(FAXも可)
横須賀市コールセンター (受付 8:00~20:00)
電話 046-822-4000 FAX 046-822-2539

*手話通訳・要約筆記が必要な方は、各講座
開催日の2週間前までにお申込みください



ネット申込はこちらから

【定員】 各回先着40名
(注:開催日ごとの申込が必要です)

先着順

【講師紹介・講座内容】

映画「梅切らぬバカ」

母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描いた作品。母・山田珠子（加賀まりこ）は、息子・忠男（塚地武雅）と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木の枝は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが…。

岸川 学 さん（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科講師）

専門はソーシャルワーク、障害者福祉。

1998年～2011年、社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷「わたげ」にて重度知的障害を伴う自閉症者の地域生活を支えるソーシャルワーカーとして勤務。

2011年より神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科に勤務。大学の仕事の傍ら、自閉症や発達障害のある人への支援のコンサルテーション、行政の障害者福祉計画の策定、障害者自立支援協議会の運営などに関わっている。

近藤 勝利 さん（社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台 施設長）

「『社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台』は、2002年4月、身体障害者療護施設(当時)として開設しました。

現在身体に障害のある方を中心に51名の方が暮らしています。

身体に障害といっても、生まれたときからの障害や、事故や生活習慣病の後遺症、難病を抱えて障害になった方など、その背景は様々です。ほとんどの方が車イスを必要とし、視覚の障害や知的の障害も併せ持っている方もいて、生活に必要な支援も千差万別です。」

【ご注意ください】

受講者による録音・録画、カメラ・携帯電話での撮影はご遠慮ください

【アクセス】



☆JR線「横須賀駅」・京急線「逸見(へみ)駅」からともに徒歩5分です

☆京急バス「汀橋(なぎさばし)」バス停から徒歩1分、「横須賀駅」バス停から徒歩5分です

☆駐車場 施設利用者のための地下駐車場を併設しています(有料)

☆駐輪場 自転車・バイクの駐輪場が1階にあります(無料)